

<学校教育目標>一人一人がかがやく学校 ワンランク上の自分をめざそう！

豊かな心

健やかな体

<目指す子ども像>
自分のおもいや考えをいきいきと表現する子
自分からあいさつをする子
ものを大切にする子

○規範意識の育成

- ・自分からあいさつをしよう
- ・ものを大切にしよう
- ・いじめを許さない

○道徳教育の充実

- ・お互いの生き方や価値観の違いを認めよう
- ・人とよりよい関係を築くための言葉や行動を身につけよう

○豊かな感性・情操を育む教育の充実

- ・伝統文化や食文化に触れ、伝統や文化を受け継いでいく担い手であることを実感しよう

○支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり

- ・児童会活動を活発にしよう
- ・すべての子どもが生き生きと学び、友人関係を育むことができる「心の居場所づくり」を進めよう
- ・クラスマネジメントを活用しよう。

○運動やスポーツの実践と体力の向上

上⇒業間マラソン・校内マラソン大会の実施

○組織的・計画的な安全管理を徹底したうえで体育学習及び運動部活動を充実しよう

○保健教育の充実

・「早寝 早起き 朝ご飯」を徹底しよう

○食に関する指導の推進

・学校給食を「生きた教材」として食に関する指導を推進する。

・食物アレルギーのある児童の安心安全なものにするために食物アレルギー・アナフィラキシーに対する正しい知識に基づき、適切な対応がとれるように研修の機会充実・関係機関との連携を行う。

○防災教育・防災管理の充実

・地域と連携した防災教育の推進
引き渡し訓練・シェイクアウト訓練をしよう

学校運営協議会

保護者・地域と連携・協働した取組を推進。

地域

保護者

保護者・地域に開

評価

評価

評価

確かな学力

○確かな学力の育成に向けた視点

- ・子どもに考えさせる授業をめざそう
- ・一人一人の個に応じた授業をめざし、効果的な指導方法や指導体制の工夫改善を図る
- ・学習課題を提示し、その実現のために発達の段階に応じて設定した記録・要約・説明・論述・発表・討論等の言語活動を経て、学習課題に応じた「まとめ」と「振り返り」を行うことを徹底しよう。⇒ノート検定の取組

○基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

- ・説明する力、言葉をきたえよう ・家庭学習（自主勉強）をしよう
- すべての子どもに学習基盤の確立⇒帯タイム・木曜「がんばりタイム」の取組
- 子どもの発達段階と特性に応じてICT機器等を効果的に活用し、情報の収集・分析・まとめ・発信・伝達等ができるようになるための学習活動を充実しよう。⇒デジタル教科書の活用・学校図書館での授業

○問題解決的な学習や探究活動の充実

子どもの学習意欲を喚起・知的好奇心や探究心を引き出す。主体的に学習に取り組む能力を身に付けさせよう。⇒総合的な学習の時間の充実

○実践的な英語力の育成

○教育者としての責任を自覚し、確かなビジョンと力量をもつ教職員

- ・どの子にも声をかけ、学校全体で子どもを育てよう
- ・学年で学級経営するつもりで学年全体で子どもを育てよう
- ・45分の授業で勝負し、教員も子どもも時間を守ろう・時間割をかえないようにしよう。

伝え合い話し合い考え合い

簡単なことでもやりきる